

「消防学校ニュース」

平成 29 年 6 月 5 日発行

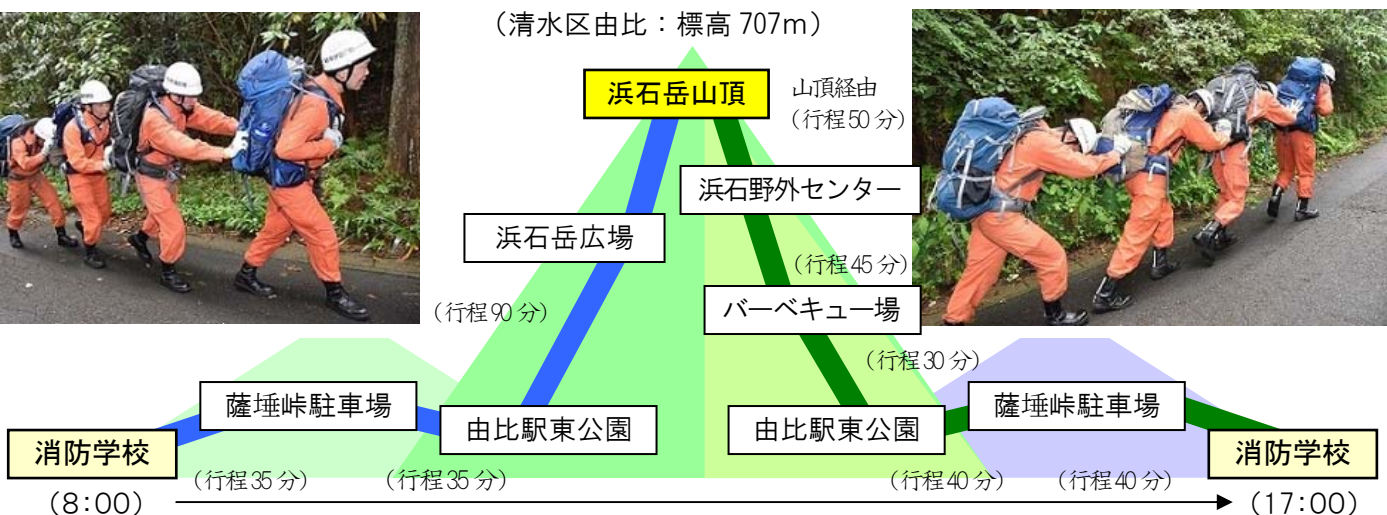


初任教育初任科第 87 期

平成 29 年 5 月 25 日(木)実施

第 1 回 野外訓練～浜石岳

必要な脚力、持久力等の体力と強靱な精神力、そして協同精神の涵養を図る



いざ出発!

5月25日、その日は朝から雨模様でありました。
初任科第87期109名のうち、体調不良により学校にて自主訓練を行う1名を除く総勢108名は、約20kgの負荷に耐えながら、全行程約30kmの野外訓練に挑戦します。学校出発と同時にピタリと雨がやみました。天気も学生たちの味方をしてくれるようです。



野外訓練担当教官 主査 酒井 良憲 (静岡市派遣)

出発式において学生総代(静岡市消防局:長島 潤)の激励の言葉が学生たちの心と体を奮い立たせ、士気を鼓舞したようです。

「よし、やるぞ」という学生たちの気持ちを肌で感じることができました。

担当教官として私は、「全員が完歩し、学生一人ひとりが、また第87期全体が自信をつけてほしい」と思う一方で、「現実の厳しさを知り、挫折を味わうことも必要。今の挫折は後の大きな財産。悔しさを胸に再び立ち上がってほしい」という気持ちもありました。

…(いずれにせよ) 全力で私について来い! よおし、やるぞお!



出発前の学生たちを教官が見守ります



絆



校旗を先頭に
いよいよ出発



消防学校を出発した訓練隊は、肅々と興津川を渡ります。
第1回休憩地点は薩埵峠駐車場、第2回休憩地点は由比駅東公園、概ね各 35 分の行程は、決して平坦な道のりではありません。最初の関門、目指す浜石岳はまだ先です。

まだまだ 序の口



酒井教官を先頭に、女子学生の班が続きます。
気持ちの高ぶりを抑えつつ、隊列を先導する歩行ペースをいかに保つか肝心です。



↑ 第1回休憩地点「薩埵峠駐車場」



目指せ！山頂

いよいよ浜石岳を登ります。
まずは浜石岳広場を目指し、最も厳しい行程を迎えます。
教官たちは懸命に学生たちを誘導します。
学生たちは必死になって付いて来ます。



教務課教務班長 宮田 真人

苦しい 疲れた もうやめた
では 人の命は救えない！

野外訓練最大の難関、延々と続く上り坂。疲弊する身体、しかし気力と団結力で登っていきます。そうして消防吏員としての自覚、責任感、協調性が育まれます。これを機に、学生気分が抜け、プロ意識が芽生えていくことと思います。



最後尾には公用車がサポート

最もきついといわれる第3行程をクリアし、浜石岳広場に全員到着しました。休憩の間、学生たちは靴擦れに苦笑い。さあ、いよいよ、山頂です。

難関突破！



これまでの舗装された登り道を外れ木々が生い茂る山道に入って山頂を目指します。



初任科第87期総括担当教官 主査 伊勢 伸康 (志太派遣)

まもなく山頂というところで、一人の学生が両足をつり、脱落の危機に陥りました。「アウト宣言」も考えられましたが、隊列への引戻しを判断しました。その学生は足を庇いながらも必死に最後まで皆に付いていきました。

今回は強い日差しがなく、天候に恵まれました。この好機を生かして参加学生全員での任務完了ができました。大きな一歩ですが、決して慢心することなく、次の一歩のために更なる向上、連携を図ってほしいと考えます。



学生たちの視界が開けました。山頂です。待ちに待った山頂です。身体は重く、動きは軽快とはなりません、心は踊ります。



やっと腹ごしらえ

予定では山頂で昼食だったのですが、雷など天候の変化を懸念して、浜石野外センターまで下ることになりました。

野外センターでは待ちに待ったお弁当です。やっと学生たちの笑顔が広がりました。



第87期 やったぞお

総勢 123 名(学生 108 名、教職員 15 名)全員が登頂成功！
 復路は下りだから楽、ということは決してありません。
 登り以上に膝や腰に負担が掛かります。
 それでも全員完歩！ (…翌日の発熱者 1 名)

全員無事 帰還！



先頭が学校正門へ到着

復路の薩埵峠は、女子学生の頑張りにこたえるべく、彼女たちがぎりぎり付いてくることができたペースを守り、結果、予定通りの 17 時に帰校することができました。



副校長兼教務課長 坂口 健次 (浜松市消防局出身)

学校入校以来 2 か月の成果として、教官の指導の下、個人の努力、班員の協力、そして 109 名の同期の絆で第 1 回野外訓練の所期目的を概ね達成した。よく頑張った。しかし、ミッションはまだ半ば、この強歩訓練で現時点の自分の力、置かれたポジションが理解できたと思う。
 努力の成果が出た者、実力が発揮できなかった者、それぞれの思いはあるが、日々の教育訓練は災害対応を念頭に入れて全力で前進すること。
 初任科第 87 期 109 名が一致団結して、更なる知識・技術の習得に突き進み、強靱な体力と精神力を更に養っていくように。



今回参加できなかった一人の学生については、仲間と同じ土俵に立てなかった悔しさをバネにして、今後の訓練に励んでほしい。



今回の訓練に携わった消防学校教職員たち…
 周到な準備、自らの気力・体力を振り絞りながらの学生たちへの目配り・気配り、公用車部隊の険しい山道を最後尾での追走、皆さん、本当に大変でした。よくやってくれました。(気が気でなかった新任校長)